

# TIFFANY

## SB DUNK史上最高のデザインに推すスニーカーヘッズも多い DIAMOND SUPPLY CO.の創業者が提案するコラボモデル

2005年のTEAM MANAGERシリーズのひとつであり、SB DUNKラインナップの中でも特に知名度の高いカラーウェイが、DIAMOND SUPPLY CO.が提案する“TIFFANY”だ。ポイントに“ティファニーブルー”を連想させるティール（鴨の羽色）を使用する事から名付けられたニックネームであり、ジュエリーブランドの“TIFFANY”との関係は無い。そのため海外のスニーカーファンサイトでは“AQUA BLUE”と表記される事もあるが、世界中のスニーカーヘッズはこの魅力的なSB DUNKを“TIFFANY”、もしくは“TIFFANY DUNK”と呼んでいる。コラボレーションパートナーであるDIAMOND SUPPLY CO.は1998年にニコラス・ターシェイ（通称ニック・ダイヤモンド）がサンフランシスコで立ち上げたスケートブランドで、2000年には拠点をロサンゼルスに移している。ムラサキスポーツが総輸入代理店である事から国内での知名度も高く、ハイセンスなアパレルラインを受用し続けるスニーカーヘッズも少なくない。

このSB DUNK“TIFFANY”は、ブランドの創業者であるニック・ダイヤモンド自らデザインを手掛けたプロダクトだ。その類まれなるカラー選びのセンスに対する評価は高く、これ以降のスニーカーデザインにも大きな影響を与えている程だ。ニックネームの由来となった明るいティールカラーに目を奪われがちだが、単色に見えるブラックのオーバーレイにもロゴダイル調の型押しが施され、ラグジュアリー感を演出している点も素晴らしい。あえてベースと異なるカラーをセレクトしたステッチ系や、スウッシュのメタリックシルバーもデザインのアクセントとして活きている。さらにスニーカーヘッズ目線と言えば、ブラックのシュータンタグはSB DUNK史に残るトピックと感じるに違いない。そのタグにはDIAMOND SUPPLY CO.の象徴でもあるダイヤモンドのデザインと、NIKE SBのロゴが刺しゅうされている。つまり2002年発売のSupreme DUNKでも成し得なかった、ダブルネーム仕様のシュータンタグが採用されているのだ。



NIKE DUNK LOW PRO SB  
Release year : 2005  
Style Code : 304292-402  
資料提供 : WORM TOKYO

